

LGBTQ視点で、誰もが働きやすい 職場をつくる

～様々な研究結果をもとに考える～

LGBTQ等の性的少数者に対する社会的関心が高まっており、多様な性の在り方が尊重され、誰もが自分らしく生きられる多様性・包摂性のある社会の実現が求められています。LGBTQをはじめとする、人権を尊重した企業経営の重要性は広く浸透しつつある一方、経営を実践する上では、「具体的な取組方法が分からない」「十分な人員・予算を確保できない」といった企業の方々からの声が数多く挙がっており、規模が小さい企業ほど、十分な取組には至っていないのが現状です。

今回は、早稲田大学教授であり、LGBTQが置かれた社会環境に関する研究に造詣の深い釜野さおり先生をお招きし、様々な調査結果をご紹介いただきながら、LGBTQ当事者も含めた誰もが働きやすい職場のあり方を考えます。企業が取り組むべき人権課題として捉えていただくきっかけとなれば幸いです。

講演 かまの 釜野 さおり 氏

早稲田大学 社会科学総合学術院 教授
(公財)世界人権問題研究センター 嘱託研究員



専門は社会学（ジェンダー、セクシュアリティ、家族）。2024年4月より現職。前職の国立社会保障・人口問題研究所では、結婚、出産、家族に関する調査研究に携わるかわら、性的マイノリティについての意識や態度についての全国調査や同性カップルの関係性のインタビュー調査などに取り組む。主な論文に「ダイバーシティ・インクルージョンと社会調査における〈性別〉—ジェンダー統計とクィア方法論の連携—」（『社会学評論』2024年）、「同性カップルのワーク・ファミリー・バランス：欧州3カ国における制度と現実のはざままで」（『ワーク・ファミリー・バランス』慶應義塾大学出版会2021年）などがある。

日時 令和6年12月26日(木) 午後3時～午後5時
(受付開始 午後2時30分～)

参加費無料

会場 公益財団法人世界人権問題研究センター多目的スペース
(京都市下京区下之町57番地1 京都市立芸術大学キャンパス内A棟7階)
※JR「京都駅」及び京都市営地下鉄「京都駅」から徒歩約6分

対象 京都市内に事業所のある企業等の経営者、
総務・人事責任者、人権研修推進者等

申込方法 令和6年12月19日(木)まで【先着60名】
申込フォーム：右の二次元コード又は専用のアドレス
【https://sc.city.kyoto.lg.jp/multiform/multiform.php?form_id=8929】
からお申込みください。
FAX：裏面の申込書※を記載し、075-366-0139 に送信してください。



御来場の際は
公共交通機関を
御利用ください。



【お問合せ】(平日の午前8時45分～午後5時30分)
京都市文化市民局共生社会推進室(人権文化推進担当) 電話(075)222-3096 FAX(075)366-0139
ホームページ「企業向け人権啓発講座」(<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu1/category/19-4-2-0-0-0-0-0-0-0.html>)の
ページを御覧ください。